

「男女共同参画社会」に関する
アンケート
集計結果

令和5(2023)年度

調査時期:令和5年11月

寒 川 町

基本情報

調査対象者：寒川町在住の満18才以上の男女1,500人

抽出方法：無作為抽出（ただし男女同数）

調査方法：郵送による配布、郵送による回収

調査期間：令和5年11月1日～11月27日

回収できた調査票：457通 回答率 30.5%

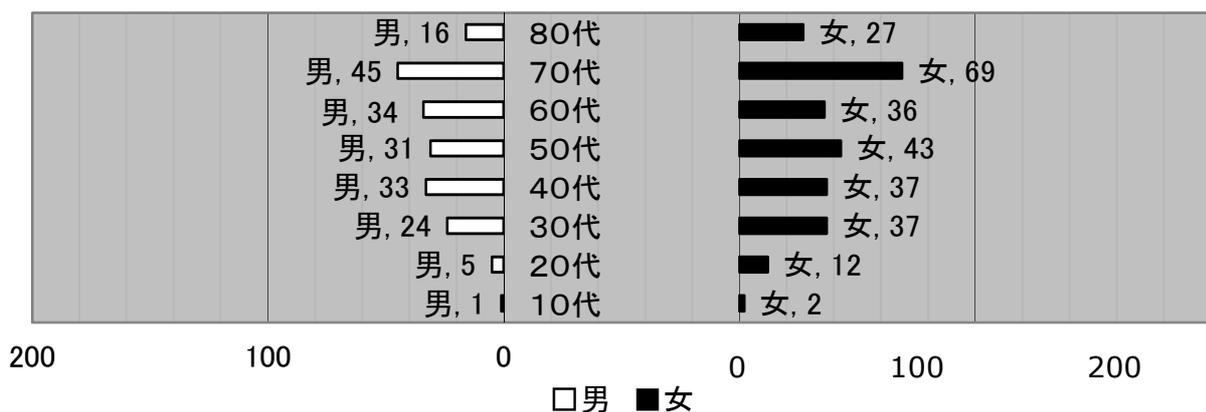
問1 あなたの性別は。

問2 あなたの年齢は。

性別・年代	男	女	その他	構成比		
10代	1	2	0			
20代	5	12	2	4.2%		
30代	24	37	0	13.4%		
40代	33	37	0	15.4%		
50代	31	43	0	16.2%		
60代	34	36	1	15.6%		
70代	45	69	1	25.2%		
80代	16	27	0	9.4%		
小計	189	263	4	41.4%	57.7%	0.9%
合計	456			100%		

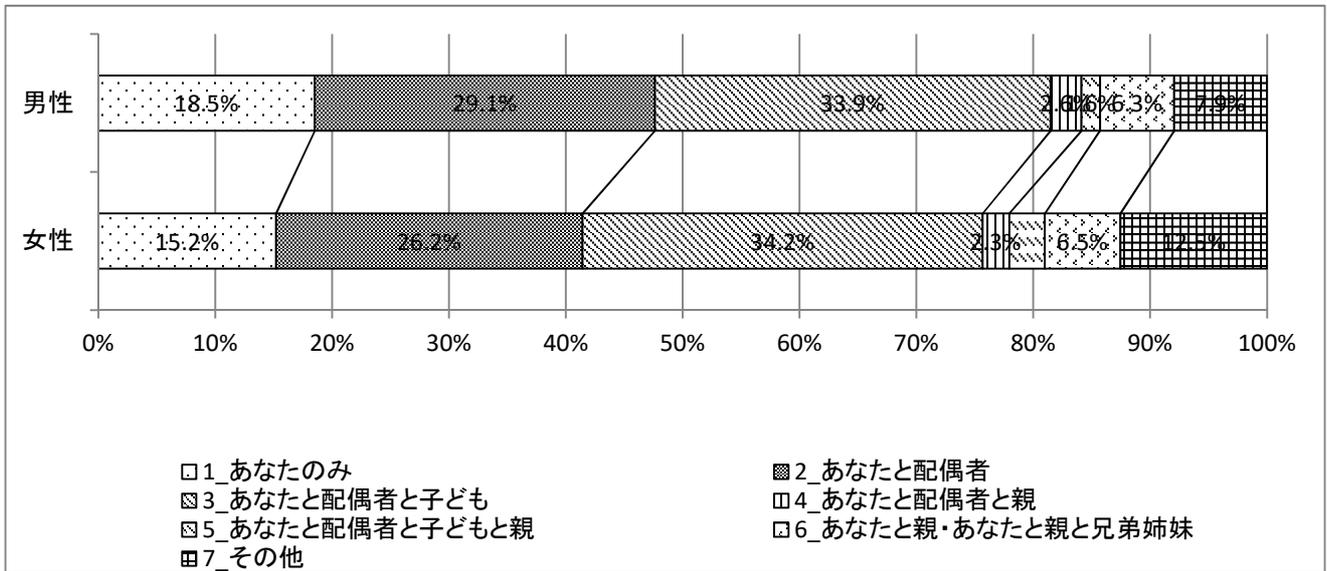
無回答1

年代別男女



回答者の57.7%が女性であり、町人口構成比と比べて女性の回答率がやや高く、男女ともに70代の回答が最多となっている。

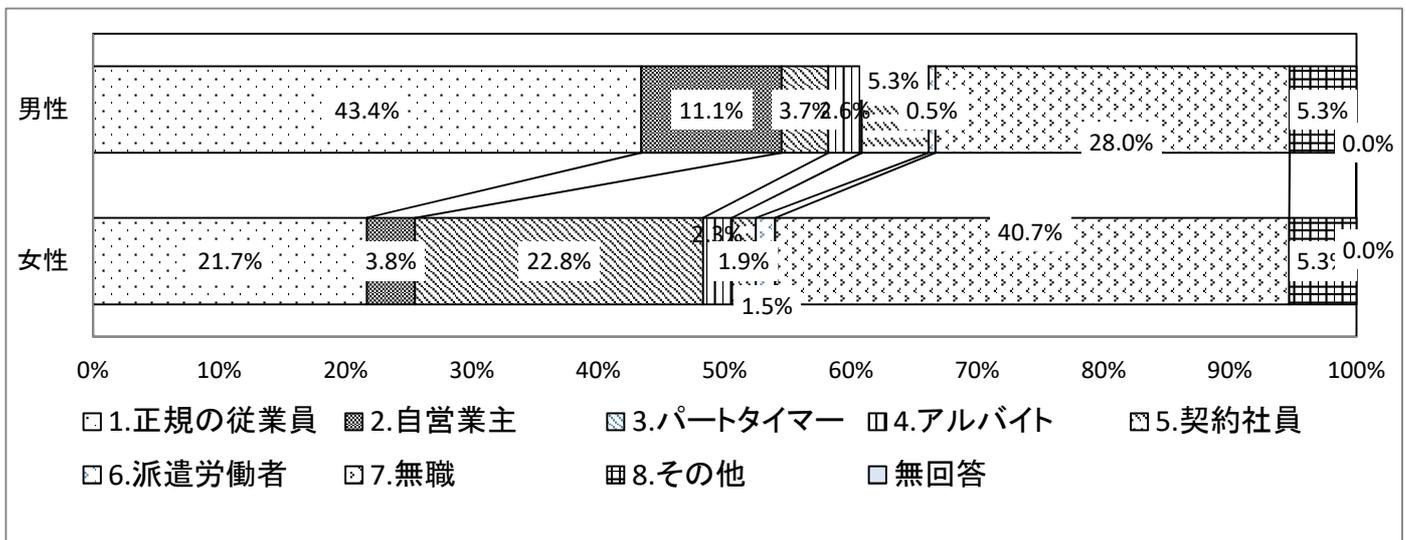
問3 現在の家族構成は。



家族構成	男性	女性
1_あなたのみ	18.5%	15.2%
2_あなたと配偶者	29.1%	26.2%
3_あなたと配偶者と子ども	33.9%	34.2%
4_あなたと配偶者と親	2.6%	2.3%
5_あなたと配偶者と子どもと親	1.6%	3.0%
6_あなたと親・あなたと親と兄弟姉妹	6.3%	6.5%
7_その他	7.9%	12.5%

家族構成は、男女ともに「あなたと配偶者」の割合が最も高く、次いで「あなたと配偶者と子ども」が続く。

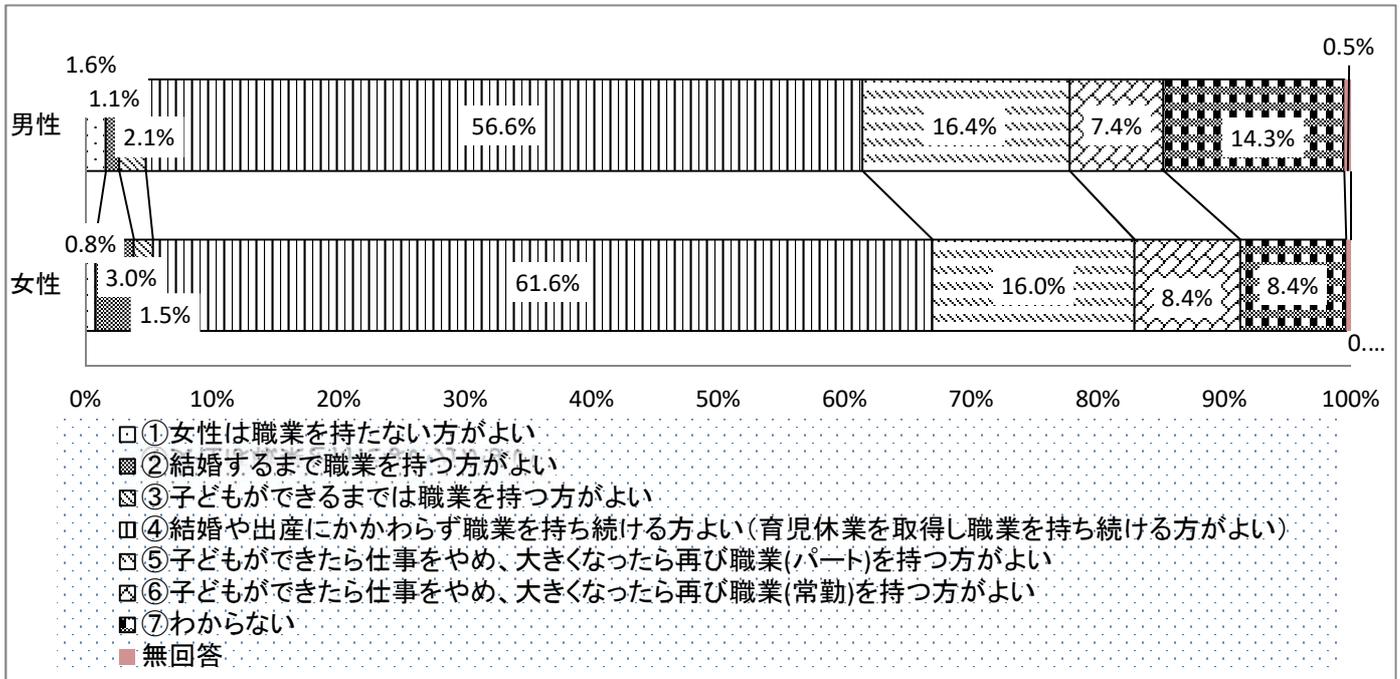
問4 あなたの就業形態を教えてください。(1つ選択)



就業形態	男性	女性
1. 正規の従業員	43.4%	21.7%
2. 自営業主	11.1%	3.8%
3. パートタイマー	3.7%	22.8%
4. アルバイト	2.6%	2.3%
5. 契約社員	5.3%	1.9%
6. 派遣労働者	0.5%	1.5%
7. 無職	28.0%	40.7%
8. その他	5.3%	5.3%
無回答	0.0%	0.0%

就業形態について、正規の従業員の割合は男性が女性の約2倍。「正規従業員」は男性が前回調査に比べ9.8ポイント伸びたのに対し、女性は1.5ポイントの伸びにとどまっている。その反面で、女性の「パートタイマー」は3.8ポイントの伸びを示した。

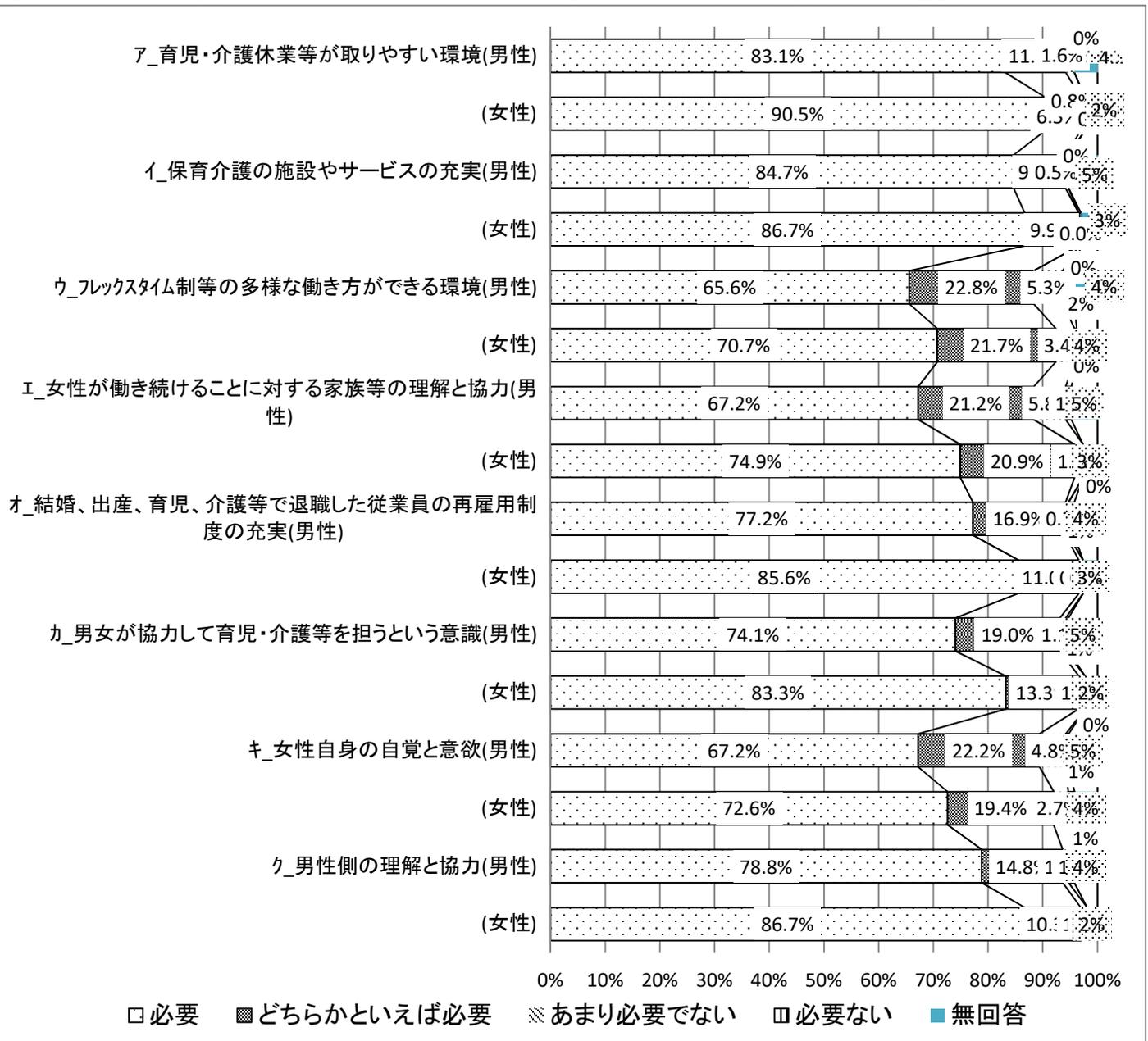
問5 女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。(1つ選択)



女性が職業を持つことについて		
	男性	女性
① 女性は職業を持たない方がよい	1.6%	0.8%
② 結婚するまで職業を持つ方がよい	1.1%	3.0%
③ 子どもができるまでは職業を持つ方がよい	2.1%	1.5%
④ 結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方よい (育児休業を取得し職業を持ち続ける方がよい)	56.6%	61.6%
⑤ 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び 職業(パート)を持つ方がよい	16.4%	16.0%
⑥ 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び 職業(常勤)を持つ方がよい	7.4%	8.4%
⑦ わからない	14.3%	8.4%
無回答	0.5%	0.4%

女性が職業を持つことについて、男女ともに「④結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方
がよい(育児休業等を取得し職業を持ち続けるほうがよい)」の割合が最も高くなっている。前回
調査に比べ、男性では5.7ポイント、女性では13.4ポイントと大きく増加した。また「子どもが
大きくなったら再び職業(パート)を持つほうがよい」の項目は男性で1.2ポイント、女性は5.4
ポイント減少している。これらのことから、女性の就業を肯定的に捉える傾向が拡大していると
いえる。

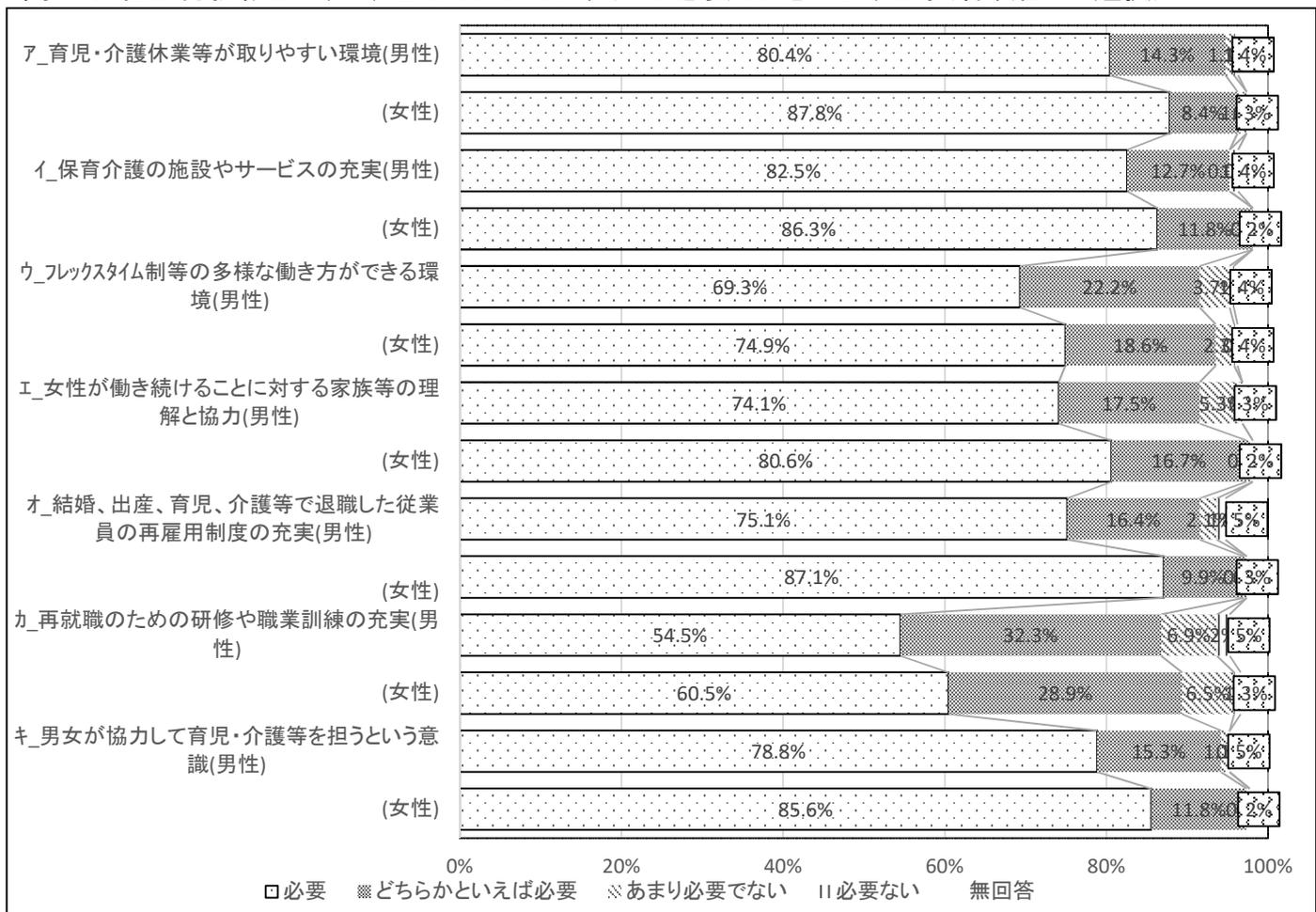
問6 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(各項目1つ選択)



女性が働き続けるために必要なこと					
	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	無回答
ア_育児・介護休業等が取りやすい環境(男性)	83.1%	11.1%	1.6%	0.0%	4.2%
(女性)	90.5%	6.5%	0.8%	0.0%	2.3%
イ_保育介護の施設やサービスの充実(男性)	84.7%	9.5%	0.5%	0.0%	5.3%
(女性)	86.7%	9.9%	0.0%	0.4%	3.0%
ウ_フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境(男性)	65.6%	22.8%	5.3%	2.1%	4.2%
(女性)	70.7%	21.7%	3.4%	0.4%	3.8%
エ_女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力(男性)	67.2%	21.2%	5.8%	1.1%	4.8%
(女性)	74.9%	20.9%	1.5%	0.0%	2.7%
オ_結婚、出産、育児、介護等で退職した従業員の再雇用制度の充実(男性)	77.2%	16.9%	0.5%	1.1%	4.2%
(女性)	85.6%	11.0%	0.8%	0.0%	2.7%
カ_男女が協力して育児・介護等を担うという意識(男性)	74.1%	19.0%	1.1%	0.5%	5.3%
(女性)	83.3%	13.3%	1.1%	0.0%	2.3%
キ_女性自身の自覚と意欲(男性)	67.2%	22.2%	4.8%	0.5%	5.3%
(女性)	72.6%	19.4%	2.7%	1.1%	4.2%
ク_男性側の理解と協力(男性)	78.8%	14.8%	1.1%	1.1%	4.2%
(女性)	86.7%	10.3%	1.1%	0.0%	1.9%

女性が働き続けるために必要なことについて、男女ともに「ア」育児・介護休業等が取りやすい環境の整備、「イ」保育・介護の施設やサービスの充実、「オ」結婚、出産、育児、介護等で退職した従業員の再雇用制度の充実、「カ」男女が協力して育児介護を行う意識、「ク」男性側の理解と協力が必要と考える割合が高くなっている。女性が働き続けるためには、環境の整備、両立支援のためのサービスの充実、再雇用制度の充実に加え男性側の理解・協力といった意識的な要素も必要であると思っている割合が高いことがうかがえる。また、全項目で女性のほうが「必要」と答えた比率が高く、男女の意識差が表れている。

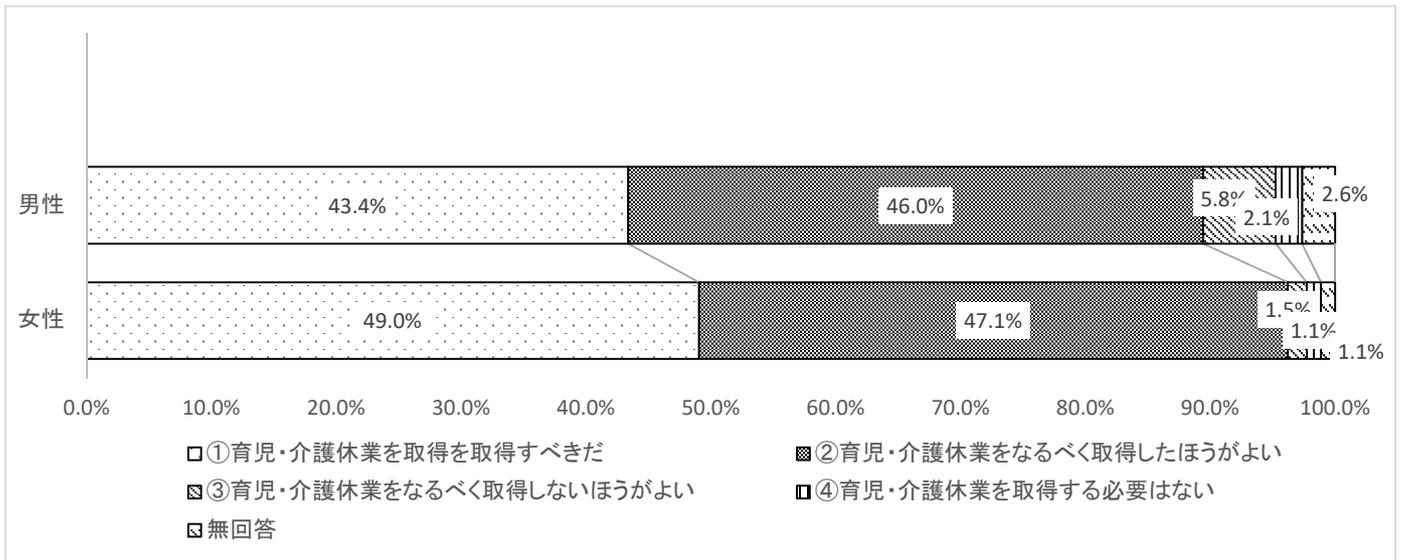
問7 女性が再就職しやすくするためにどのようなこと必要だと思いますか。(各項目1つ選択)



女性が再就職しやすくするために必要なこと	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	無回答
ア_育児・介護休業等が取りやすい環境(男性)	80.4%	14.3%	1.1%	1%	4%
(女性)	87.8%	8.4%	1.1%	0%	3%
イ_保育介護の施設やサービスの充実(男性)	82.5%	12.7%	0.0%	1%	4%
(女性)	86.3%	11.8%	0.0%	0%	2%
ウ_フレックスタイム制等の多様な働き方ができる環境(男性)	69.3%	22.2%	3.7%	1%	4%
(女性)	74.9%	18.6%	2.3%	0%	4%
エ_女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力(男性)	74.1%	17.5%	5.3%	0%	3%
(女性)	80.6%	16.7%	0.8%	0%	2%
オ_結婚、出産、育児、介護等で退職した従業員の再雇用制度の充実(男性)	75.1%	16.4%	2.1%	1%	5%
(女性)	87.1%	9.9%	0.4%	0%	3%
カ_再就職のための研修や職業訓練の充実(男性)	54.5%	32.3%	6.9%	2%	5%
(女性)	60.5%	28.9%	6.5%	1%	3%
キ_男女が協力して育児・介護等を担うという意識(男性)	78.8%	15.3%	1.1%	0%	5%
(女性)	85.6%	11.8%	0.4%	0%	2%

女性の再就職に必要なことについて、男女ともに「ア」育児・介護休業等が取りやすい環境、「イ」保育・介護の施設やサービスの充実、「オ」結婚、出産、育児、介護等で退職した従業員の再雇用制度の充実が必要と回答している割合が高くなっている。また、「カ」再就職のための研修や職業訓練の充実、「キ」男女が協力して育児・介護を担う」という意識について必要と回答した割合が、男女ともに前回調査と比べわずかながらも上昇の傾向にある。

問8 男性の育児・介護休暇について(1つ選択)

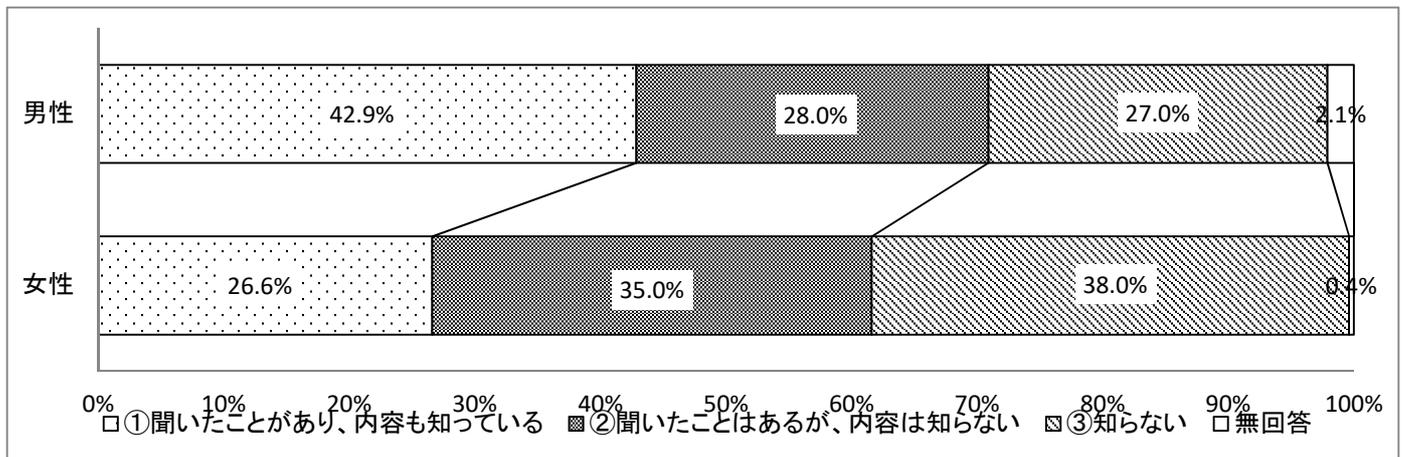


「男性の育児・介護休業を取得」について

	男性	女性
①育児・介護休業を取得をすべきだ	43.4%	49.0%
②育児・介護休業をなるべく取得したほうがよい	46.0%	47.1%
③育児・介護休業をなるべく取得しないほうがよい	5.8%	1.5%
④育児・介護休業を取得する必要はない	2.1%	1.1%
無回答	2.6%	1.1%

男女ともに「②育児・介護休業をなるべく取得したほうがよい」が最も高く、次に「①育児・介護休業を取得すべきだ」となった。この2つの回答を合わせると全体の90%を占め、男性の育児・介護休業の取得について意識の高いことが伺える。また、前回調査に比べ②は男性が17.8ポイント、女性が11.2ポイント減少、①は男性・女性ともに17.5ポイント上昇したことから、意識内容の変化が見てとれる。

問9 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」について知っていますか。(1つ選択)

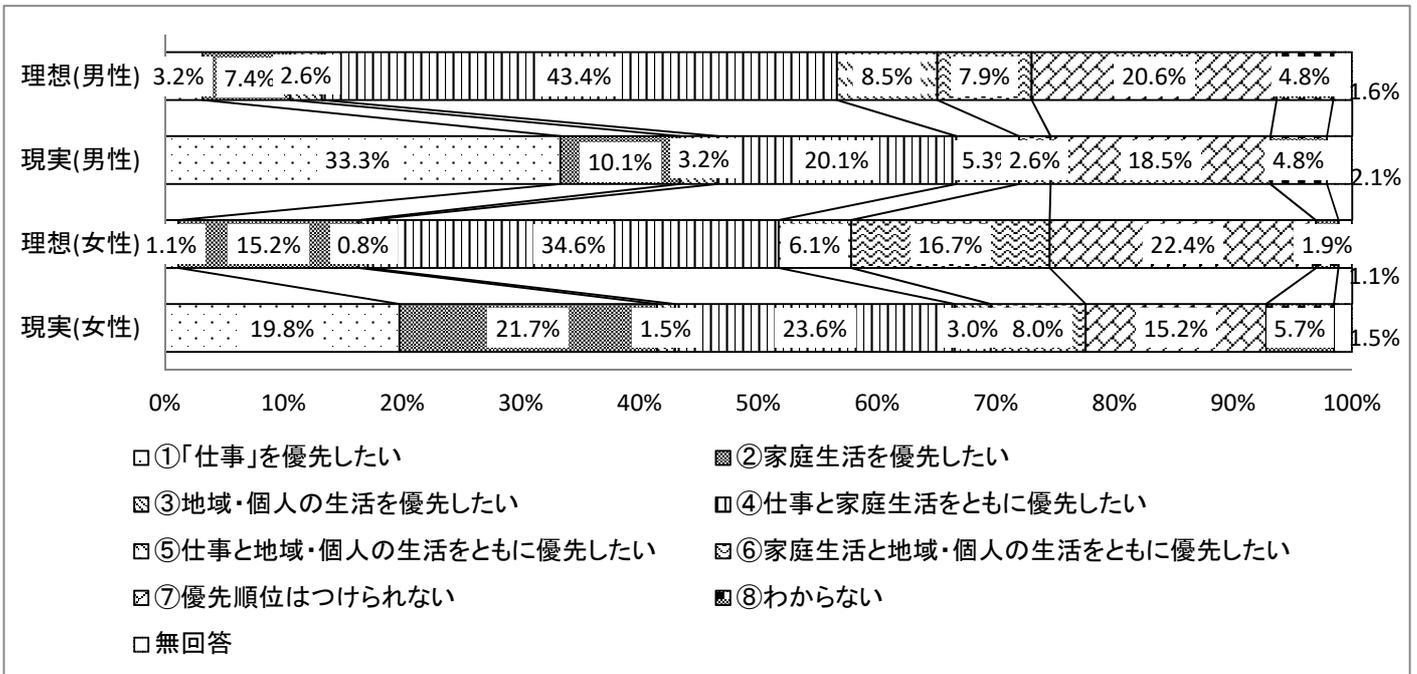


「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」について知っていますか

	男性	女性
①聞いたことがあり、内容も知っている	42.9%	26.6%
②聞いたことはあるが、内容は知らない	28.0%	35.0%
③知らない	27.0%	38.0%
無回答	2.1%	0.4%

「仕事と生活の調査(ワーク・ライフ・バランス)」についての認知度は、「①聞いたことがあり、内容も知っている」が前回調査に比べ男性15.3ポイント、女性で4.6ポイント増加し、「③知らない」は男女とも減少した。それでもいまだに認知度は50%に到達せず、十分とは言いがたい。

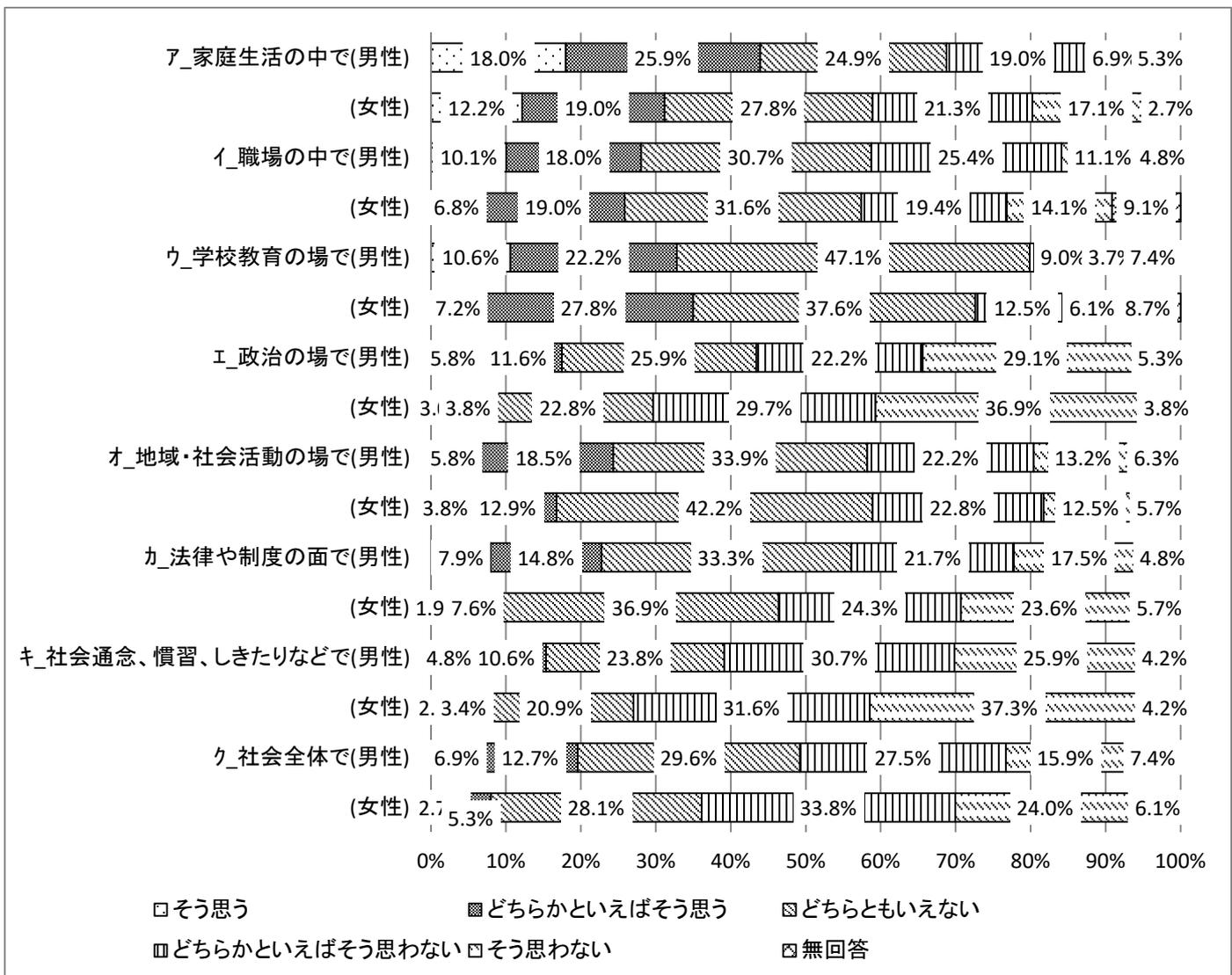
問10 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方の理想と現実について(それぞれ1つ選択)



「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方の理想と現実				
	理想(男性)	現実(男性)	理想(女性)	現実(女性)
①「仕事」を優先したい	3.2%	33.3%	1.1%	19.8%
②家庭生活を優先したい	7.4%	10.1%	15.2%	21.7%
③地域・個人の生活を優先したい	2.6%	3.2%	0.8%	1.5%
④仕事と家庭生活をともに優先したい	43.4%	20.1%	34.6%	23.6%
⑤仕事と地域・個人の生活をともに優先したい	8.5%	5.3%	6.1%	3.0%
⑥家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい	7.9%	2.6%	16.7%	8.0%
⑦優先順位はつけられない	20.6%	18.5%	22.4%	15.2%
⑧わからない	4.8%	4.8%	1.9%	5.7%
無回答	1.6%	2.1%	1.1%	1.5%

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方の理想と現実について、男女ともに理想は「④仕事と家庭生活ともに優先したい」が最も高くなっている。現実では男性は「①仕事を優先したい」が高く、理想と現実の間に乖離が生じているが、女性は現実でも「④仕事と家庭生活ともに優先したい」が高く、次いで僅差で「②家庭生活を優先したい」となっている。

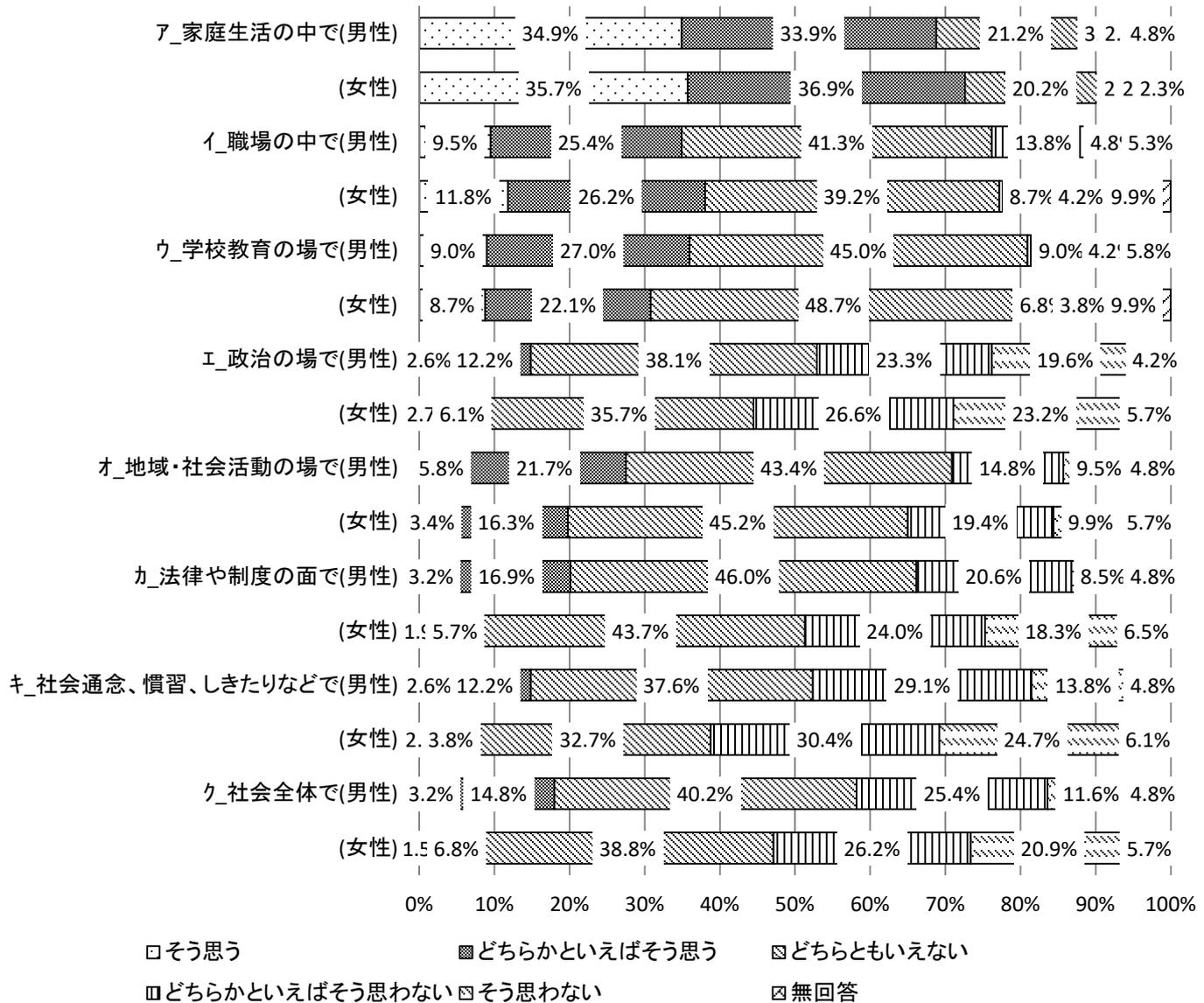
問11 男女の平等感について次の場面で男女が平等になっていると思いますか。(各項目1つ選択)



次の場面で男女が平等になっていると思いますか		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
ア_家庭生活の中で(男性)		18.0%	25.9%	24.9%	19.0%	6.9%	5.3%
(女性)		12.2%	19.0%	27.8%	21.3%	17.1%	2.7%
イ_職場の中で(男性)		10.1%	18.0%	30.7%	25.4%	11.1%	4.8%
(女性)		6.8%	19.0%	31.6%	19.4%	14.1%	9.1%
ウ_学校教育の場で(男性)		10.6%	22.2%	47.1%	9.0%	3.7%	7.4%
(女性)		7.2%	27.8%	37.6%	12.5%	6.1%	8.7%
エ_政治の場で(男性)		5.8%	11.6%	25.9%	22.2%	29.1%	5.3%
(女性)		3.0%	3.8%	22.8%	29.7%	36.9%	3.8%
オ_地域・社会活動の場で(男性)		5.8%	18.5%	33.9%	22.2%	13.2%	6.3%
(女性)		3.8%	12.9%	42.2%	22.8%	12.5%	5.7%
カ_法律や制度の面で(男性)		7.9%	14.8%	33.3%	21.7%	17.5%	4.8%
(女性)		1.9%	7.6%	36.9%	24.3%	23.6%	5.7%
キ_社会通念、慣習、しきたりなどで(男性)		4.8%	10.6%	23.8%	30.7%	25.9%	4.2%
(女性)		2.7%	3.4%	20.9%	31.6%	37.3%	4.2%
ク_社会全体で(男性)		6.9%	12.7%	29.6%	27.5%	15.9%	7.4%
(女性)		2.7%	5.3%	28.1%	33.8%	24.0%	6.1%

男女の平等感について、男女ともに「㊦社会通念、慣習、しきたりなどで」と「㊥政治の場で」において男女が平等になっていると思わないの割合が高くなっており、前回調査とほぼ同様の結果を示している。
特に女性は、全体を通じて男女平等になっていると思わないの割合が男性より高い傾向にあり、男女の感覚にズレが生じていることがわかる

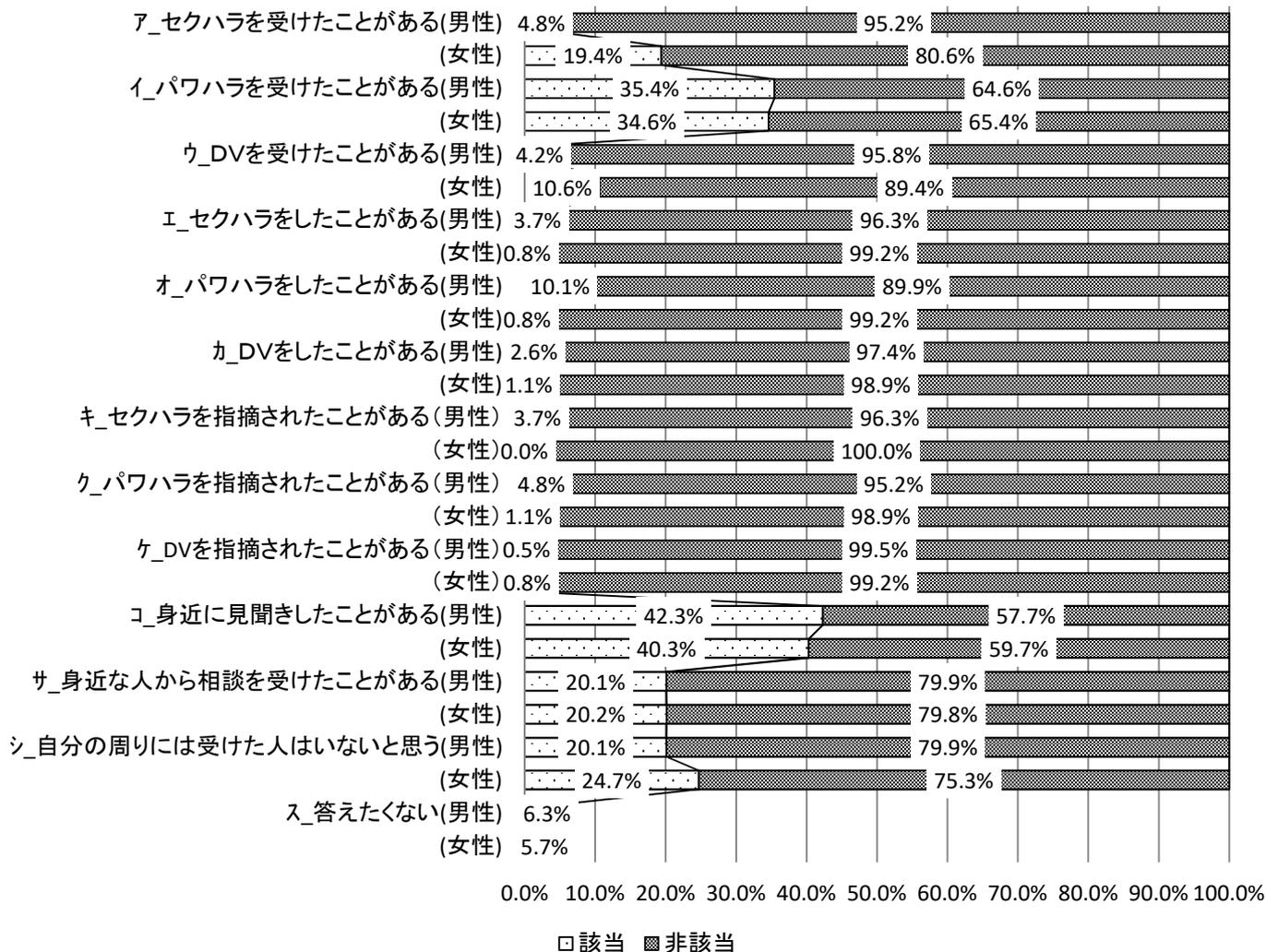
問12 女性の能力は十分に活用されているか(各項目1つ選択)



女性の能力は十分に活用されているか	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい え ばそう思わ ない	そう思わ ない	無回答
ア_家庭生活の中で(男性)	34.9%	33.9%	21.2%	3.2%	2.1%	4.8%
(女性)	35.7%	36.9%	20.2%	2.7%	2.3%	2.3%
イ_職場の中で(男性)	9.5%	25.4%	41.3%	13.8%	4.8%	5.3%
(女性)	11.8%	26.2%	39.2%	8.7%	4.2%	9.9%
ウ_学校教育の場で(男性)	9.0%	27.0%	45.0%	9.0%	4.2%	5.8%
(女性)	8.7%	22.1%	48.7%	6.8%	3.8%	9.9%
エ_政治の場で(男性)	2.6%	12.2%	38.1%	23.3%	19.6%	4.2%
(女性)	2.7%	6.1%	35.7%	26.6%	23.2%	5.7%
オ_地域・社会活動の場で(男性)	5.8%	21.7%	43.4%	14.8%	9.5%	4.8%
(女性)	3.4%	16.3%	45.2%	19.4%	9.9%	5.7%
カ_法律や制度の面で(男性)	3.2%	16.9%	46.0%	20.6%	8.5%	4.8%
(女性)	1.9%	5.7%	43.7%	24.0%	18.3%	6.5%
キ_社会通念、慣習、しきたりなどで(男性)	2.6%	12.2%	37.6%	29.1%	13.8%	4.8%
(女性)	2.3%	3.8%	32.7%	30.4%	24.7%	6.1%
ク_社会全体で(男性)	3.2%	14.8%	40.2%	25.4%	11.6%	4.8%
(女性)	1.5%	6.8%	38.8%	26.2%	20.9%	5.7%

前回調査に比べ、全体的に「そう思う」の割合が減少し、「そう思わない」の割合が増えている。特に「エ政治の場で」の項目では、「そう思わない」が男性では5.8ポイント、女性では7.7ポイント、それぞれ増加した。一方で、男女ともに「ア家庭生活の中で」の項目では、肯定的な考えが多数を占めている。

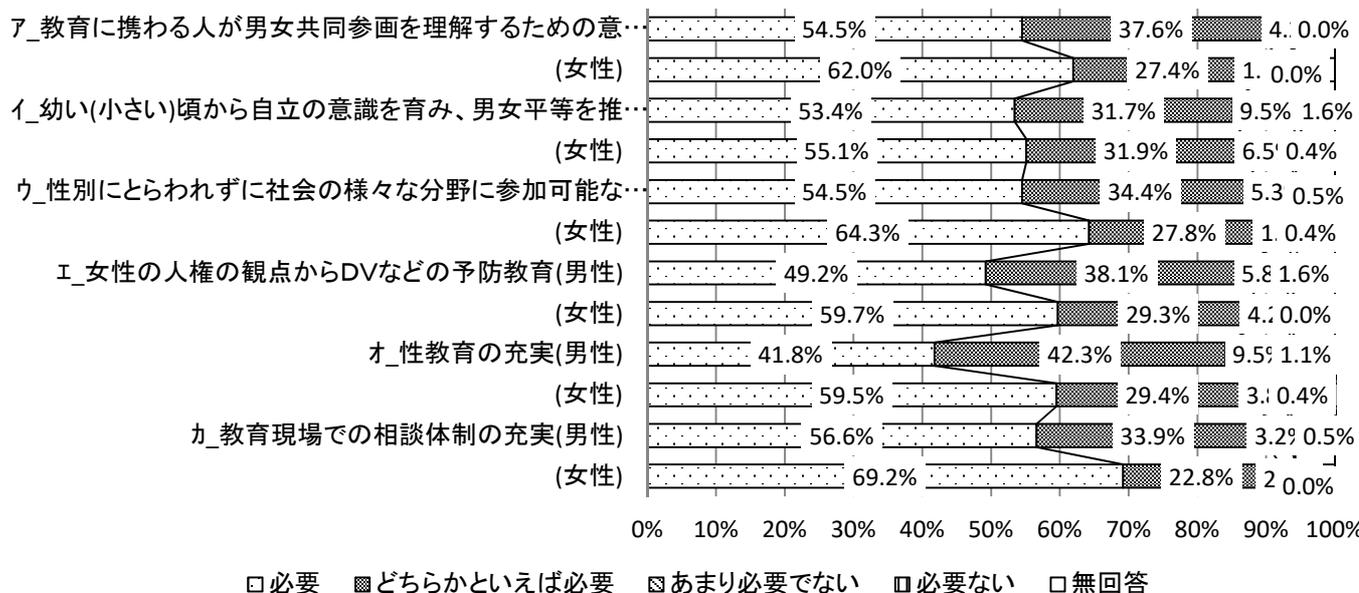
問13 職場・地域・学校・家庭などでのセクハラ、パワハラ、DVについて(複数可)



職場・地域・学校・家庭などでのハラスメント等		
	該当	非該当
ア_セクハラを受けたことがある(男性)	4.8%	95.2%
(女性)	19.4%	80.6%
イ_パワハラを受けたことがある(男性)	35.4%	64.6%
(女性)	34.6%	65.4%
ウ_DVを受けたことがある(男性)	4.2%	95.8%
(女性)	10.6%	89.4%
エ_セクハラをしたことがある(男性)	3.7%	96.3%
(女性)	0.8%	99.2%
オ_パワハラをしたことがある(男性)	10.1%	89.9%
(女性)	0.8%	99.2%
カ_DVをしたことがある(男性)	2.6%	97.4%
(女性)	1.1%	98.9%
キ_セクハラを指摘されたことがある(男性)	3.7%	96.3%
(女性)	0.0%	100.0%
ク_パワハラを指摘されたことがある(男性)	4.8%	95.2%
(女性)	1.1%	98.9%
ケ_DVを指摘されたことがある(男性)	0.5%	99.5%
(女性)	0.8%	99.2%
コ_身近に見聞きしたことがある(男性)	42.3%	57.7%
(女性)	40.3%	59.7%
サ_身近な人から相談を受けたことがある(男性)	20.1%	79.9%
(女性)	20.2%	79.8%
シ_自分の周りには受けた人はいないと思う(男性)	20.1%	79.9%
(女性)	24.7%	75.3%
ス_答えたくない(男性)	6.3%	
(女性)	5.7%	

職場・地域・学校・家庭などでのセクハラやパワハラ、DVを「㊦身近に見聞きしたことがある」という割合が、前回の調査に比べて男性では5.2ポイント、女性では2.2ポイント増加しており、ごく身近な問題として存在していることがわかる。「㊧パワハラを受けたことがある」と回答した男性の割合が前回調査より11.3ポイントと大きく増え、女性の回答とほぼ同値を示していることから、職場等におけるハラスメントが「性別を問わず顕在化しつつある」。

問14 男女共同参画社会を実現するために学校や社会教育の場等でどのような取り組みが必要だと思いますか。(各項目1つ選択)

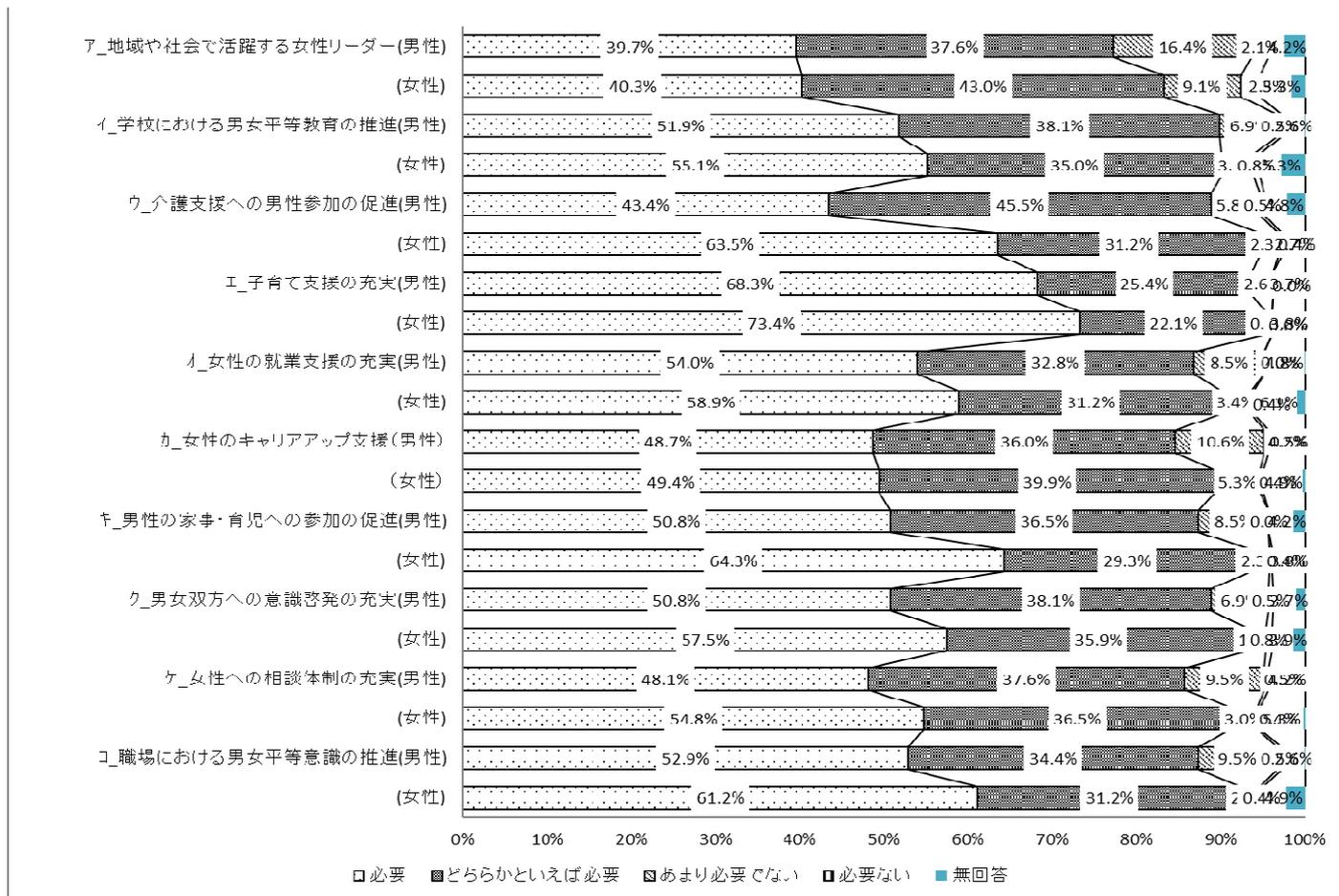


男女共同参画社会を実現するために学校や社会教育の場で必要な取組

	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	無回答
ア_教育に携わる人が男女共同参画を理解するための意識啓発(男性)	54.5%	37.6%	4.2%	0.0%	3.7%
(女性)	62.0%	27.4%	1.9%	0.0%	8.7%
イ_幼い(小さい)頃から自立の意識を育み、男女平等を推進する教育(男性)	53.4%	31.7%	9.5%	1.6%	3.7%
(女性)	55.1%	31.9%	6.5%	0.4%	6.1%
ウ_性別にとらわれずに社会の様々な分野に参加可能な学習機会の提供(男性)	54.5%	34.4%	5.3%	0.5%	5.3%
(女性)	64.3%	27.8%	1.9%	0.4%	5.7%
エ_女性の人権の観点からDVなどの予防教育(男性)	49.2%	38.1%	5.8%	1.6%	5.3%
(女性)	59.7%	29.3%	4.2%	0.0%	6.8%
オ_性教育の充実(男性)	41.8%	42.3%	9.5%	1.1%	5.3%
(女性)	59.5%	29.4%	3.8%	0.4%	7.3%
カ_教育現場での相談体制の充実(男性)	56.6%	33.9%	3.2%	0.5%	5.8%
(女性)	69.2%	22.8%	2.3%	0.0%	5.7%

男女共同参画社会を実現するために学校や社会教育の場で求められる取組みでは、男女ともに上位は「カ教育現場での相談体制の充実」、「ウ性別にとらわれずに社会の様々な分野に参加可能な学習機会の提供」「ア教育に携わる人が男女共同参画を理解するための意識啓発」の順で、前回調査時の結果とまったく同じ並びとなった。

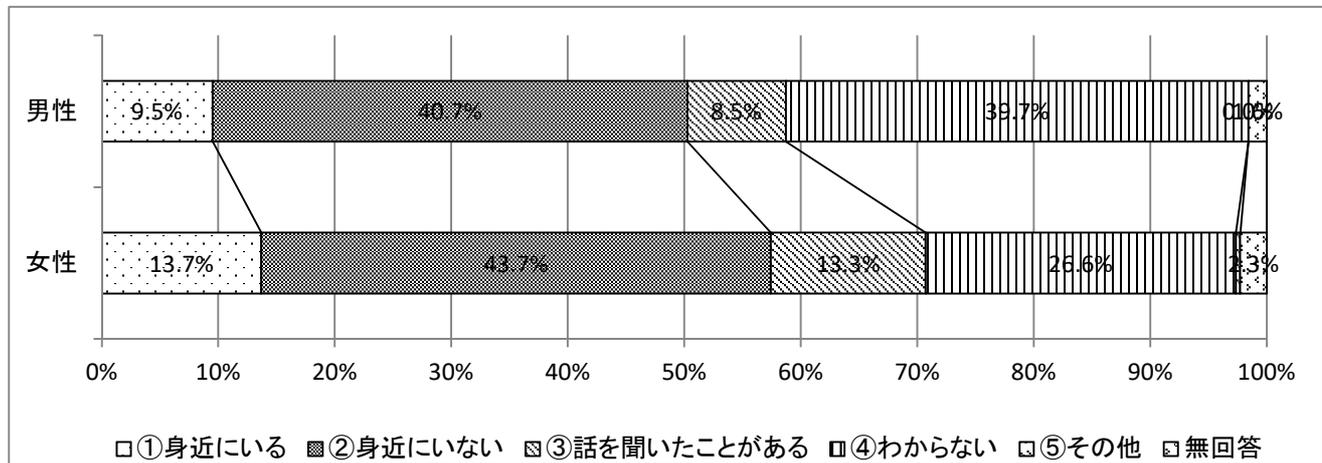
問15 今後、寒川町の男女共同参画社会の実現のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(各項目1つ選択)



今後、寒川町の男女共同参画社会の実現のために、力を入れるべきこと	必要	どちらかといえば必要	あまり必要でない	必要ない	無回答
ア_地域や社会で活躍する女性リーダー(男性)	39.7%	37.6%	16.4%	2.1%	4.2%
(女性)	40.3%	43.0%	9.1%	2.3%	5.3%
イ_学校における男女平等教育の推進(男性)	51.9%	38.1%	6.9%	0.5%	2.6%
(女性)	55.1%	35.0%	3.8%	0.8%	5.3%
ウ_介護支援への男性参加の促進(男性)	43.4%	45.5%	5.8%	0.5%	4.8%
(女性)	63.5%	31.2%	2.3%	0.4%	2.7%
エ_子育て支援の充実(男性)	68.3%	25.4%	2.6%	0.0%	3.7%
(女性)	73.4%	22.1%	0.8%	0.0%	3.8%
オ_女性の就業支援の充実(男性)	54.0%	32.8%	8.5%	0.0%	4.8%
(女性)	58.9%	31.2%	3.4%	0.4%	6.1%
カ_女性のキャリアアップ支援(男性)	48.7%	36.0%	10.6%	0.5%	4.2%
(女性)	49.4%	39.9%	5.3%	0.4%	4.9%
キ_男性の家事・育児への参加の促進(男性)	50.8%	36.5%	8.5%	0.0%	4.2%
(女性)	64.3%	29.3%	2.3%	0.4%	3.8%
ク_男女双方への意識啓発の充実(男性)	50.8%	38.1%	6.9%	0.5%	3.7%
(女性)	57.5%	35.9%	1.9%	0.8%	3.9%
ケ_女性への相談体制の充実(男性)	48.1%	37.6%	9.5%	0.5%	4.2%
(女性)	54.8%	36.5%	3.0%	0.4%	5.3%
コ_職場における男女平等意識の推進(男性)	52.9%	34.4%	9.5%	0.5%	2.6%
(女性)	61.2%	31.2%	2.3%	0.4%	4.9%

今後、寒川町の男女共同参画社会の実現のために、どのようなことに力を入れるべきかでは、男女ともに「㊦子育て支援の充実」がトップだが、2番目以降で結果が分かれた。男性は「㊤女性の就業支援の充実」「㊩職場における男女平等意識の推進」と続き、社会的な場面での施策充実を挙げているが、女性では「㊥男性の家事・育児への参加の促進」「㊨介護支援への男性参加の促進」と続き、主に家庭内での役割分担を求める様相となっている。また、前回調査では男女とも㊦が上位だったが、今回調査では女性側の㊥の順位が5番目へと後退した。

問16 身近にLGBTQの方がいますか。



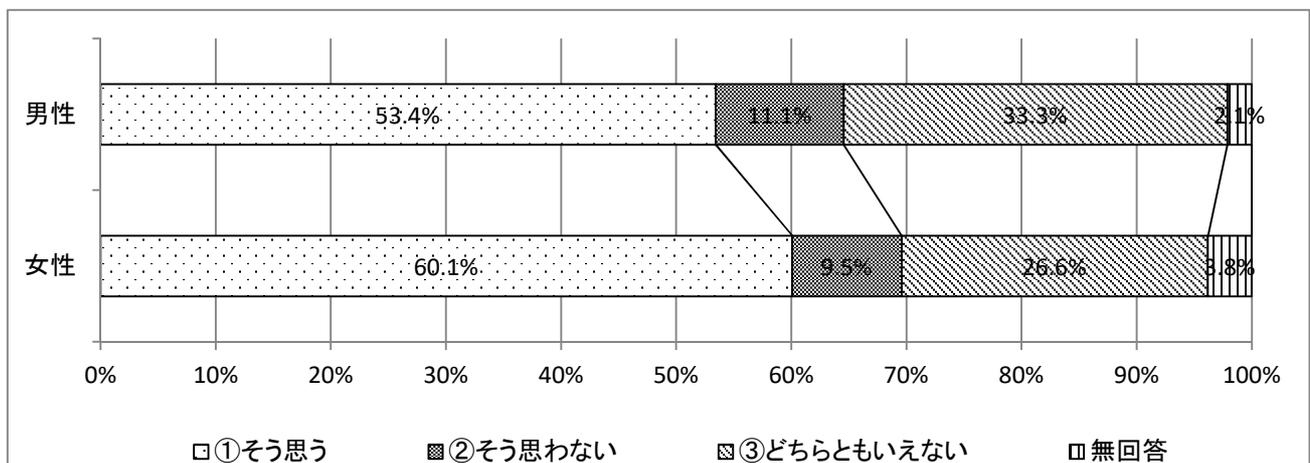
身近にLGBTQの方がいますか

	男性	女性
①身近にいる	9.5%	13.7%
②身近にいない	40.7%	43.7%
③話を聞いたことがある	8.5%	13.3%
④わからない	39.7%	26.6%
⑤その他	0.0%	0.4%
無回答	1.6%	2.3%

今回調査からの設問。

「身近にいる」と答えた割合は男女ともにほぼ1割程度で、やや女性のほうが割合が高くなっている。

問17 LGBTQの方にとって、偏見や差別等により生活しづらい社会であると思いますか。



LGBTQの方にとって、偏見や差別等により生活しづらい社会であると思いますか

	男性	女性
①そう思う	53.4%	60.1%
②そう思わない	11.1%	9.5%
③どちらともいえない	33.3%	26.6%
無回答	2.1%	3.8%

今回調査からの設問。

男性の半数以上、女性では6割が「①そう思う」と回答している。

問18 男女共同参画社会の実現に向けての意見

番号	意見
1	専業主婦ですが問4で無職に印と付けなければならない所に抵抗感がありました。女性は妊娠・出産、子育ての中でどうしても更年期が出てきて、働きたも、働けない状態があります。その様な面も考女性が働きやす町づくりもして欲しいです。どうしてもブランクがあるとなかなか採用してもらえなかったりします。社会全体に適用することですが、日本は未だに学歴社会だなと感じます。学歴ではわからない、その人自身の能力が発揮できていないのが現実です。役場に行っても職員が（女性が）見下してくることは多々あります。
2	平等より公平を望みます。欧米は無理やり男女同数にしようとするけど逆差別だと思えます。機会が与えられていて自由意志で選択できるのが平等だと思えます。
3	女性側の意識改革が重要だと思えます。
4	憲法に男女等がうたわわています。又、重要な法律としても基本法が施行されましたが、日本はまだまだ道半ばにあると思えます。更なる取組みが必要と感じております。
5	問6の(7)に関して、男性側の理解と協力と言うのがそもそもの考え違いだと思う。男性の自覚と意欲ではないか？
6	人の目を気にせず好きなように生活できたらいいと思えます。
7	女性、男性に関係なく、支援などもっと充実できたら暮らしやすく不安のない社会になると思えます。
8	・どんなジャンルの人でも住みやすい町づくり。 ・どんな事でも相談できる役場の窓口やアドバイザーの設置
9	誰でも、男女、金に関係なく社会で活躍できる社会の形成・若者と老人の同居。
10	男性並に働きたい女性、子供の成長を見守りたい女性と、様々だと思うので家庭と社会と協力できれば良い。男女平等でない!と感じることが身の回りではないので、よく分かりません。年配男性が柔軟な考えを持つと良いのでは?という印象があります。
11	戦争の時代、男は女より役に立った、だから偉かった。このような社会通念は学校教育を受ける前の幼児に無意識の母親からインプットされる。成人してから教育やら法律やらで教えようとして難しい。影響強い母親達の意識を変えさせなければ男女共同参画社会は実現しない。
12	家庭内での話し合いをし、家族の理解を得ることが必要と思う。
13	同性に愛を感じ持つことは・・・その様になること自体は仕方ないと思う・・・しかし実際に同性で性行為することはゆるされない!
14	誰もが平等に生きられる、生きやすい世の中であるのが理想だが、いざLGBTQの方と出逢った時に平静でいられるか自信がない。トイレの分け方や性の問題等、口に出すことがはばかれることが多いので迷ってしまうが、それぞれの尊厳は守ってあげたい。
15	男女共同参画社会の実現に向けて男性の理解と女性の接極性が大切。女性が何事にも前に出ないかぎり男女平等にはならない。
16	制度として急速に推進するのではなく徐々に推進していく方向でよいのではないかと性別に関係なく、お互いの人権を尊重するような意識の高まりが大切だと考える。
17	教育の推進、リーダー育成、自治会の活性化が重要。身近な問題として考えたい。
18	言葉だけの実現ではなく、地に足のついた内容をコツコツと進める事が大切だと思う
19	私はこれまで子育て、自営とだいたい夫に会議等まかせて参加しませんでした。これから時間が許す限り参加して意見も申しのべ女性の向上に努めるつもりです
20	男性の理解と女性の意識を向上させる事が重要であると思う。男尊女卑の排除、プロ意識の育成
21	家事、育児は女性にさせるのは辛すぎます。男性も積極的に手伝えるべきです。介護もそうですがね。
22	人間は皆同じ、男性も女性もなく生かされて必要として生を受けた事を小さい頃から話して聞かせる必要を感じます。
23	昔ながらのしきたりが、まだ日本には残っている。また、男性でなければできない仕事もあり、少しずつ女性も社会参加を増やしていけたらと思う。
24	町主体で定期的に教育、講習会の実施
25	男女共同参画の社会を目指し企業、行政、教育の場での学習機会の提供等は継続する必要があるが、意識の醸成という意味で、まずは家庭内での男女共同作業・意識に関するチェックシート等を作成し、それに基づき実践することでワークライフバランスが図られていくとともに意識が根付くのではないかと考えます。また、町内の行政、地域(企業は困難?)における共同参画の状況について、統計をとり定期的に公表することで進展の度合いも確認でき、さらなる取組みに繋がるのではないかと。一点、専業主婦がいけないという捉え方にならないようにしなければならぬが、全町民に男女共同参画の意識が高まればそのような考えもなくなると考えます。
26	国政レベルでの取組推進が不可欠であり、それに合わせて確実に改善してゆかざるを得ない。
27	学生のうちから男女平等教育の推進が特に必要だと思えます

番号	意見
28	私の知り合いが寒川町役場で会計年度任用職員としてがんばって働いているが、地域や社会で活躍するべく資格取得、よりよい業務向上を目指し、学校に通っている。年末調整の際に職場に「勤労学生」「資格取得のための支出」をスムーズに認定される仕組みが無いようで卓帝申告の時に大変そうだ。現時点で困っている人が、がんばっている人がいることを知ってほしい。確定申告時に資格取得にかかった費用を申告したくても、現状は受けれていないようだ。女性パートの制度の向上、まず外の人々より内側の男女共同参画への取組から実現に向けられたらPRにもなると思う。
29	間7の?について、結婚や出産で一度退職した女性が正社員、正職員として働くことが難しい。パートで130万円のカベで町内の職場（寒川町役場含む）に年金や健康保険に入れなくて自己分担で全額負担で高額支払いしている女性パートの存在を知ってほしい。
30	押し付ける平等感では無く、男女ともに息苦しく無い平等が良いと考えます。
31	小学校からそのよるな機会を設けるべき。日本はそういった意味で非常に遅い。変えたいと思うこのようなアンケートをとるならば、出る抗となり寒川町から進めていくべき。他市他町の顔色はみる必要ない。魅力ない取り組みに人は集まらないと思います。ぜひがんばってください！
32	男女の平等も大切ですが個人の能力・魅力も大切にしていきたい。
33	特に女性の、思いや願いを素直に伝えられたり、悩みや不安を吐き出せたりする場が、増えるともっと生きやすく、過ごしやすくなると思います。
34	男性(既婚者)の給料をあげる。所得税など見直しをする。そうすることで、こういった問題はおこらないんじゃないんですか。
35	子育ては女性がする物という意識の撤廃。育児休業など、子育てについて支援を充実させる事。男女共に助け合って生きていくという気持ちを持つ事。人間1人1人平等であり、尊い命であると言う事を社会人は自覚しなければ、いけないという事。
36	職種、仕事の要件などにより適用できる施策は変わります。共通項は税制面の見直し、保育施設とリモート業務スペースの同敷地内での設置などを行政として推進する、非正規雇用を減少させ、生活レベルの安定機会を支援する。
37	男女共同参画社会の取組は女性が働けるようにこと（女性視点のもの）が多いように思います。男性にとってもいろいろと選択できるような取組みがあると良いかなと思いました。（男性の育休、時短勤務等）家庭生活への参加など子どもに向けての教育もとても重要だと思います。
38	外国から来た人が増えています。男女共同も大切なのはもちろんですが、彼らが安心して寒川町の人と共に生きていける施策が欲しいですね。
39	必要性が不明瞭。何の為?メリット・デメリット、そもそも、この言葉が差別では?
40	町で何か取り組むようなテーマではないと思う。
41	共同ではなく、男側、女側、意見は違うものと考えて、2通りの方向で勤める考えで良いのでは。共同出来る事は共同としても、2通りの答えとしての参画社会が必要と思います。
42	上司が仕事より家庭を優先する姿を見せれば後輩も自然とそうなっていくと思います。年上の方がまず行動すべきだと思います。
43	<男女の人権の尊重>性別にかかわらず、ひとりの人間として個性と能力を発揮できるようになって欲しい。
44	私、生活保護愛受給者です。感謝以外ありません。ありがとうございます御座居ます。今後も寒川町の人々のためよろしく願います。
45	男だから泣くな、や、職業に対しての偏見はまだ根強くあると思います。マルシェなどみんなで楽しもう!の場の提供をありがとうございます。安く楽しめて満足をもっと体感したいです。
46	男性と女性を分けて考えている段階で無理だと思います。一人の人間として、それぞれの特性や能力に合った見方や対応が必要だと思います。一定のルールや対策は必要だと思いますが、「決めつけた考え方」や「平等」ではなく、それぞれが自分に合った選択ができる環境が必要だと思います。不要なものや障害をなくす引き算の考え方も必要だと思います。
47	大変なことや難しいことからではなく、出来る小さいことから、一つずつ実現できることから始めることができればと思います。
48	時間はかかるが必要分野。町全体をLGBTQを認知して呼びこんで施設作りしてもおもしろい。注目集めて話題になるかも。勝手な意見ですが。
49	個人的には女性として何の不利も不自由も感じていないので分からない。私の廻りにも誰もいないし話題にも上がらない。
49	質問全体が女性側を基準にしているような感じがしました。男性が答えるとしたら『わからない』と答える方が多いのでは。解答者の年代にもよりますが、まだまだ男女の差は大きく思います。平等になるには相当の年数がかかりそうだと思います。
50	私の夫は結局育児休業を取得しませんでした。自分の子どもの世代は夫婦で休業するのが当たり前の中になってほしいです
51	特定の組織内での男女の比率を揃える事が男女平等の訳ではない事を理解出来ていない愚か者が多すぎる。
52	皆が住みやすい町になると良いですね!

番号	意見
53	町会議員の女性が多くなること。
54	男女平等と言っているが女性の人権の観点という言葉が出て来ている時点でおかしい。女性と男性の権利差があるのもおかしい。
55	1、県立高校の募集人について、「男・女各120名等区別せず、学力に応じてトップから定員数まで合格とする改革を。2、アンケートを作成しついで、町民窓口課の課長は女性ですか？役場に何名の女性管理職がいますか？町長は歴代男です。女性の町長も誕生させよう。行政から率先して平等な社会づくりを。
56	女性が生理痛の時男性上司に生理休暇を申請すると、休みたいのか!と言われ、辛くとも休めなかったとの娘の話です。男性にも、しっかりと「性」の教育を受けさせるべきでは？
57	男・女それぞれできることを協力してやれば良いと思います。
58	調査だけではなく1つでも良いので実現をしてもらいたい
59	育児に両性が全力で取り組めるよう、育児の支援や育休手当を充実させてほしい。
60	現代において、いまだに男性中心の考え方が社会に根付いていると思う。職場での管理職の割合が男女比=7:3くらいです。(私の職場)女性は候補にすら挙がらないのが現状です。このような取り組みは非常に良いことと思います。
61	性別を意識することなく暮らせる社会になると、いいなと思います。
62	グレーの部分が多いかも
63	まず大人がかがみになる、いきる。
64	LGBTQや男女平等について、反対意見があっても良いと思うが、近年それを発言しにくい社会風潮がある。反対意見もあって平等がなり立つ。互いの譲歩があつての平等。女性の職場は沢山あるのに、知られていない。建設業など、もっと周知すべきと感じる。
65	民間企業に於いても、このような制度の充実化は進んでいますので、寒川町の策定プランと比較して、良いところ取りをして更により良い改善に繋げては如何かと思ひます
66	男性も女性も一人の人として尊重できる社会であってほしいと思っています。相手を思いやる気持があれば個々の能力、個性を大切にすることができる。そのためには教育が大切だと考えます。
67	男女の区別なく人として夫々の特色を知り、尊重して、結婚にめぐまれましたら共同で子育てに参加、少子化を防ぎたいですね。
68	女性が働きやすい職場を増やしたい。
69	小学校のPTAや校外員を廃止してほしい。また、現在〇時以降に登校しないと教室に入れないとあるが、共働き世帯が増える中、働く親にとってかなり重荷です。外部委託するなど、対策をとってほしい。いつまでたっても働きにくい。
70	高齢者が、夫を亡くし、庭木の剪定を出来ないような時、費用が安くなるような相談窓口を希望します。(シルバーセンターは高額なので。)
71	性別にかかわらず、あらゆる人の尊厳が守られ、自分らしく生きられる社会づくりを目指します。
72	これからの若い人達の課題だと思います。
73	そもそも男女は違うものなので、平等よりは適材適所が良いと思う。
74	まだまだ男性社会が根強く残っているので幼いころからの教育が必要である。また、出産など、女性にしかできない事があるのも現実なので、それにとまなう支援や環境の充実が大切。そして男性の協力は必須である。
75	働きたい人が働ける社会になってほしいです。
76	これからの社会、高齢者も多くなるので男女、平等意識は大いに必要だと思います。
77	男女とする事が間違い!お互いにお互いをとと思えば進んで行くのでは?
78	日本より進んでいる先進国の取組みを参考に良いものは取り入れてほしい。
79	性別に関わりなくと言っているのに、「男女、共同参画社会というのに不思議に感じる。LGBT「Q」の人もいます。
80	どのような状態になれば男女共同参画社会が実現したのかイメージが出来るような発信が必要であり、関心をもってもらうことが大事ではないでしょうか。
81	もう少し勉強が必要であると感じた。
82	男性が育児を手伝う、とか協力するとかの考えがおかしい。育児は二人でやってあたり前だと思わなければいけない。女性側からの男性育児の偏見も無くすべき:男性は育児の役に立たない等。子供が生まれたときに来ていただいた保健指導員?に、自分が育児に積極亭だったのを見て「奥様の教育のおかげですか?」と言われたのには、衝撃と根深い偏見があると思った。
83	男世共同参画社会は昔と比べると、近年は国民に徐々に意識が醸成され、改善されつつあると思う。引き続き啓蒙し続けることが肝要と思う。
84	男女・LGBTGIにこだわりすぎない社会になったらいい
85	昔と違って現代社会では男性・女性が入れ変わり女性の方が強くリーダーシップをとって男性の方が陰を潜めているように思います。
87	3月に仕事を辞めたばかりで地域の状況がよくわかりませんが、皆が安心して生活できるような地域になるよう、それぞれの思いが聞けるような場がたくさんあると良い、その為に必要な人材発掘が大切では?
88	まだまだ改善できる所が多く感じます。よりよい社会になるようできる所から少しずつ変わっていけるよう望みます。

番号	意見
89	女性にも仕事や社会貢献などどんどんやってほしいが、男女体のつくりがちがいで、心の持ち方もちがうので、男は男らしく、女は女らしくは、忘れてはならないと思う。
90	とにかく何をすることも女性が何か動こうと考えると一番に家庭の心配がついて回るのは仕方ないコトだとは思いますが、その意識が男女での差がまだまだ大きい。例えば、「飲みに行ってくる」この一言が身近な例。男の人は簡単に言ってる・・・
91	持養の栄養科で働いています。男女共同で、毎日楽しく働いてますが、何かに付け声をかけ合っています。
92	法律や制度も大事ですが、何よりも「環境、土壌」作りが大切だと思います。各家庭での教育が肝要だと思います。その為の長い視野での学校教育の場での教育や、イベントでの啓発活動が必要だと思います
93	むずかしい事は解らないが家庭の中で個人の人格を認め、感謝する気持を持ってお互いに言葉にする(ごく自然に出る様)。これは男女にかかわらず、これが出来ていると学校社会においてもスムーズにやれるのではないかと。
94	問5、主語を「男性が」におきかえた時、④以外をえらぶ人はほとんどいないだろう。アンコンシャスバイアスを強く感じる。問6?女性が働くことに理解や自覚、意欲を求められることはまったく理不尽だ。男性は自覚も意欲もなくとも働いている、もしくは働かされている。働くということは本来もっと自由なはずだ。問6?ほしいのは「理解」「協力」ではなく「主体性」「行動」だ。問7?これも女性が働くことに理解がなければならぬのはもっとも悲しいことだ。
95	家族構成や家庭の状況により男女平等の必要性は変わってくると思う。一括りでの解釈はできないが、男性・女性はもともと体のつくりなどの違いもあるので全て平等は難しいと考えます。
96	男性・女性両方に同じ様に参画する場を作る
97	全ての機構及び会社、地域に於いて女性の進出・活躍出来る環境整備が必要
98	偏見をなくす。小中高で教育をする。
99	これから子供から大人になるために良い環境作りをしてあげてほしい。子供は皆んな、平等な環境で育てて欲しいです。子供は小さな時から親の背中を見て育ちますからね。
100	ワークシェアリング・フレックス制度等を充実させないとダメだと思います。在宅難務の拡充。地方議員の定年制。国会議員の定年制。トップを変える。
101	DVを受けていて一人になりたくなる時が今までたくさんありました。
102	寒川という地域ではまだまだ実現するのは遠いと思います。それでも若い人達が努力すること、子供の時からの教育が大事。応援したいと考えます。
103	個人的には「女の子」だからということで女性が優遇されてる場面があると思うので、別に男尊女卑の風潮は薄れてると思います。
104	育児休暇を終えて、社会復帰する時、こどもを保育園に入れて自分も働くためにはフルタイムで働かなければならない。9時間拘束で働いて、通勤時間も加えて、10～11時間。幼い子ともが10～11時間も保育所で過ごす毎日とはなんだろうと思う。保育所で子供が過ごすのは9～16時程で、親も5～6時間の勤務時間でも子供が保育所に入れる保障があったらいいのになと思う。そしたら、女性の仕事も続けられ、子供との時間も確保できるしいいなと思う。
105	男女とカテゴリー分けすること事態ナンセンス。それぞれ個人で事情は異なるのだから、個人の希望が最優先されるべき。
106	人間形成に必要な幼少期に、家庭・学校での幅広い道徳教育をしていくべきと思う。それには、現在の大人の意識改革が必要なのではないでしょうか。
107	男女平等の社会を実現すべき。
108	極度に女性尊重に片寄るのも問題である。
109	このアンケートをどう活用するのか気になります。女性が活躍する事は望ましいが、男女隔たりなくみな活躍出来る社会を実現していただきたい。
110	性別にこだわらず、個人に目を向ければよいのではないかと。
111	男女共同参画社会の実現!!という言葉が死語になる(必要なくなる)ようになればよいと思う。
112	家事、育児等において女性の負担が重すぎる。男女共同参画社会実現のためには、意識改革が重要だと思う。
113	このアンケートは年齢制限があった方がいいと思う。80代の人にも自分達には関係ないと思うしやはり現役世代の方がピンとくるのではないかと。
114	そういう社会になれば良いと思います。ただいろんな人がいますので、時間が長く長くかかるのでは・・・と思います。
115	私の頃は、家事、育児、学校の事などほとんど主婦の私がやってきた。今も・・・今、娘、息子達を見ていると協力し合って何でもやっているのだから、これが、あたりまえであってほしい。
116	実力のある人が方向性を立て、指導する社会
117	身体的に男と女はちがうところがあるのでなんとも言えない、と思うところあり。その為無記入あり。
118	相談、声かけが出来る、明るい、元気な町の町民部であってほしい
119	このアンケート意味ありますか?聞くまでもなく、わかっている事だと思います。
120	男女平等を唱えながら、古い慣習が残っていたり、それを知りながらその事が存在しないかのように装っているのではないかと?と思うので、何をしても無駄足に終わりそう。
121	まだまだ偏見あります。私達世代には理解に時間がかかると思います。

番号	意見
122	男女平等が好ましいが、3Kなどの仕事に対しては「女」を出してくるので平等とはいかない。子育て中の方が1人いるだけで、他の同僚の負担が増す。解決する為には相互の理解が重要だ。
123	1. 学校、社会教育の場の取組が必要。2. LGBTQについて、個人的に同居するのはいいが国が法律で決めることではない。子供を造る事が出来ないからだ。
124	私は産業政策の人材育成に育てられた人間です。今の若い人たちにも男共同参画を含めたよいキャリアアップの機会があることに期待します。
125	今回のアンケートを通して、初めて人権担当の窓口があることを知った。専業主婦であり社会との接点がない場合、この窓口ですら、わからない場合があります。
126	男女共同参画社会がなにかをまず理解させることが必要。
127	障害者を理解(病名)する社会体制が必要。言語がはっきりしない人が多くいる。高齢者を社会地域に参加する必要がある。
128	年齢が高くなると男女とも活動可能な事が低くなる。なんでも可能なのは、若いうちだけだと思います
129	社会全体で意識を持ち進んで行かなければならないと考えます。
130	男女を問わず、実力主義で人事を決定していけばいいと思う。ただ、弱い立場の人にもそれなりの配慮は必要だと思います。
131	難しい問題ですが、今後、女性がもっと活躍できる場が増えると、今よりも社会が良くなると思います。頑張ってください。
132	今の若い人達、女性もとってもがんばって働いていると思う。(子供ができると働きに行けなかった60年前、私達の若いころと考えられないほどがんばっているようです)
133	男女は全く別の性なのは当たり前なので無理に平等にする必要はない。
134	年令的に良く分らないが女性は1年中休みが無い。
135	今の世の中まだ女のくせにとか女はだまってるとか育児は女の仕事と決めつけている人が多いのではないかと思います。
136	子どもが大人になった時に育った環境(生活)や親の考え方・教育の仕方で、ほとんどの人の社会や家庭の関わり方が決まると思う。親世代にも男女平等の必要性について積極的に呼びかけるべきだと思う。
137	大企業は取り組みが進んでいるが中小企業や地域など小コミュニティでの意識の改革が必要かと思いません。特に年配の方とか。
138	そもそも男女は違う性別である事を理解し、認め合い補い合う事が大切である。男女は平等にはならない。
139	おむつ替えベッドですら、まだ女性トイレにしかない店が多いので、そういう環境整備を頑張ってほしいです。
140	老害がいなければ世は変わる
141	女性でもお仕事で活躍はできると思うので、男性が仕事が絶対ということはないのかなと思います。仕事よりも今しかできない育児に、男性も積極的に行う社会になってほしいなと思います。
142	こんなに保守的で発展のない町は良くないと思います。年寄りと子供に優しい町も大切ですが、若者が住みたくなる街にしようとする気持ちは町長には無いのか残念です。男女共同以前にこの事が気になります。
143	何かしら制度できると、依存者が発生している。悪用へつながる。具体的条件を明確に示すことが大切だと思います。
144	女性の社会進出は必要だと思います
145	男女のリーダーが立った場合に姓(男女)に関係なく平等に指示や連絡し(個々にしないで)常に平等に公開する。全員に知らせる。
146	LGBTQの人は生活しづらいと言うがひと昔にくらべたらだいぶ寛容になってると思う。全面的に受け入れろと言われても難しい... 男と女でないとは成す事が出来ないのだから、、、少子高齢化で困っている中で今回の男女共同参画は社会問題だと思います。
147	トイレ、銭湯などは、男、女と区別して欲しい。犯罪が多くなると思います。
148	お互い出来る事を助け合い協力する。
149	質問がくだらなすぎるのでは?あたりまえの事を聞いている!!
150	80才を過ぎたのでもし自分がその年齢だとして考えて記入しました。楽しく近所仲良く笑って毎日生活出来るのが1番幸せかなと思っております。若い年代の方お幸せに生活してくださいませ。
151	最近では、女性管理職やエキスパートの起用が増えている様子、喜ばしい事です。能力次第ではどんどん起用する事を望みます。
152	海外から比べると女性の活躍の場が少ない日本をはずかしいと思います。自分の保身ばかりの政治家、すばらしい技術が有るのに、残念な日本。
153	早く実現されることを願っています。現在、その社会とかけ離れている状態を当たり前となっている、個々の意識改革が大切だと感じます
154	今の社会では、女性はキャリアを犠牲にしなければ出産や育児ができない。社会全体で支える仕組みがなければいけない。小学生のうちから授業で男女平等について考える時間が必要だと思う。
155	最近の女性の様々な職業への進出は、大変進歩し、介護休暇・育児休暇に関する法律も改正され女性が働きやすい社会となっていると感じるが、女性の収入や地位の向上に関してはまだ昔ながらの根強い価値感が残っていると思う。今後も意識啓発の推進が望まれる。
156	男性自身の自覚と意欲がとても必要なのでは。
157	どうなったらそれが実現できているのか判断基準が難しいところだと思う。
158	女性を立てる政策を敢えて行う必要はなく、女性が立ちたい!と思える政策を考慮下さい。
159	ジェンダーの平等を学ぶ機会を小さい頃から増やすべき。

番号	意見
160	必要だけど、主張しなくていい。日本は平和で、守ることと楽することとは別。勘違いする人が迷惑。
161	ダイバーシティがあたりまえになりつつある状況の中で、いつまでも「男女共同」が改革テーマになっていることが時代遅れという認識が早く定着することを願います。
162	男とか女とかで語られることの違和感がずっとある。今回の設問で「女性が〜」という質問が出るたびそこなのかなと疑問に思う。もう子供をつくらない、結婚しない人が多い現実の中で、区別がなくなるのがうーんと思う。一方で男だから女だからと決めつけられることに苦しんできた同性愛者でもある。人を一人一人同じ立場で見れたらいいんですけどね。
163	男性の特性、女性の特性をふまえた上での男女平等が理想。男女等にこだわりすぎるとかえって女性が損をしたりつらい思いをするし、又その反対もある。前面に出たくない女性も一定数いると思う。
164	男女問わず成果を出したり、優秀な方が評価される仕組みを作るべきだと思う。少数派を尊重した結果、少数派以外の方が不安になる政策は取るべきでないと思う(東京のジェンターレストイレ等)。全員が思いやりを持ち助け合う事ができる世の中になってほしい。
165	偏見は持たない事
166	男女平等であることを常に意識して頂きたいと思います。
167	意識づけのための教育機会の充実
168	男性だけでなく、女性自身も意識を変えることが必要。実現に向けて、担当者の長は女性にするなど、積極的に、女性発言の機会をふやすべき。がんばってほしいです。
169	男女共に働きやすい社会、みんなが平等に理解して気持ちよく過ごせる社会を望んでいます。
170	男女を問わず、自分の出来る事をするべきだと思います。
171	まだまだ問題点が多く、個人的にはわかりません。
172	兵庫県明石市のような子育て支援を行うことにより、結果的に男女共同参画社会の実現ができると思います。
173	簡単な言い方になってしまいますが男性女性、又、LGBTQの方含め、お互いを尊敬し、思いやる気持ちがあれば、上手く生活していけるのではないのでしょうか!
174	障害のある人もない人も平等に暮らせるやさしい社会であってほしい。
175	今回のアンケートでは“女性は・・・¥という内容だった。“性別にかかわらずなく...”という社会を目指すなら男性についても聞いた方が良いのでは。”
176	1人1人が知ること、理解することがまずは重要なと思います。
177	育休を女性が産休からエスカレーター式でとるのではなく、夫と相談しどちらが取るか決められるようになってほしい。子育て、介護に対し男性はまだまだ他人事な風潮がある。もっと自分事になるよう社会が動いてほしい。
178	一人一人がもっと感心を持つ事と、女性、男性も各々の理解をすること。
179	性別を問う事は、すでに差別だと存じます。